

令和3年3月3日

県内最大規模の膜ろ過浄水場の工事に着手

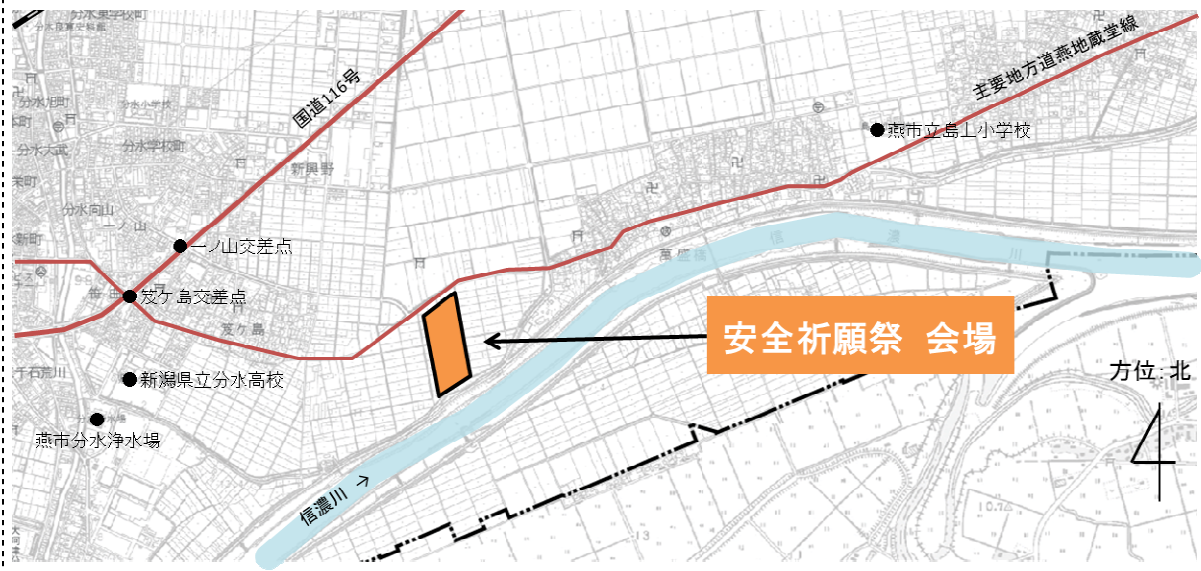
－ 燕市と弥彦村の共同事業が本格的に始まります －

燕市と弥彦村は、浄水場の老朽化などの共通課題を解決するため、平成31年4月から燕・弥彦総合事務組合として共同運営を開始し、既設4浄水場を1つに統合する浄水場施設再構築事業を進めてきました。

統合浄水場の建設工事が令和3年度から本格的に始まるため、工事作業の安全と円滑な事業推進を祈念して、事業者による安全祈願祭を行うこととなりましたので、お知らせいたします。

【安全祈願祭概要】

- 1.日 程：令和3年3月28日（日） 受付 9時30分より
式典 10時00分より
- 2.場 所：燕市笈ヶ島734番地（下記案内図参照）
- 3.出席者：燕市長・弥彦村長・燕市副市長・組合議員・国会議員・県議会議員ほか
- 4.主催者：JFE・日水コン・鹿島・メタウォーター・データベース・中越・氏田・大河津 統合浄水場等整備事業設計・建設共同企業体



本件についてのお問い合わせ先
燕・弥彦総合事務組合水道局：海津・河上
電話：0256-64-7428（直通）

【統合浄水場の施設概要】

1. 事業の目的：老朽化が著しい既存4浄水場について、課題を解決するとともに、将来の水需要を見据えた効率性の向上を目的として、1つの統合浄水場を建設することにより、災害に強く、安全なおいしい水を安定供給できる浄水場の整備を行います。
2. 施設概要：セラミック膜による膜ろ過方式
計画1日最大給水量 42,500m³/日
3. 給水人口：82,814人（令和7年度時点の推計値）
4. 施設の特徴：
 - ①「つよい」浄水場
高強度・高耐食性・長寿命なセラミック膜の採用と最適な前処理により、超高濁度 2,000 度に対応可能で、水質・水量などの環境変動や地震・風水害などの自然災害にも対応
 - ②「やさしい」浄水場
水位差の活用などによる CO₂ 排出抑制や、回収率 99%以上と水資源の無駄のない利用を実現
 - ③「つなぐ」浄水場
粉末活性炭の導入により安定的においしい水を供給し、非常時対応可能な設備を構築するなど、将来へ持続可能な施設を整備
5. 供用開始：令和7年度より
6. 契約方法：民間事業者の技術力やノウハウ、創意工夫を最大限に引き出し、業務の効率化が期待できる DBO（Design Build Operate）方式にて契約。
7. 設計建設：契約期間 令和2年6月11日～令和7年3月31日
契約金額 16,688,100 千円（税込）
8. 運転維持管理：契約期間 令和7年1月10日～令和27年3月31日
契約金額 11,460,900 千円（税込）
9. 事業者：8社による共同企業体
代表企業／J F Eエンジニアリング株式会社（機械設備企業）
構成企業／株式会社日水コン（設計企業）
鹿島建設株式会社（土木建築企業）
メタウォーター株式会社（電気設備企業）
株式会社データベース（維持管理企業）
株式会社中越興業（土木建築企業）
株式会社氏田組（地元企業）
大河津建設株式会社（地元企業）
10. その他：燕市と弥彦村の広域化の取組みは、
令和元年度水道イノベーション賞（特別賞）を受賞



※提案時の統合浄水場イメージ

★県内における他事例

見附市(青木浄水場)：セラミック膜による膜ろ過浄水場を整備中（R3年3月完成予定）
計画1日最大給水量 23,000m³/日